

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 26 日

アイシン健康保険組合

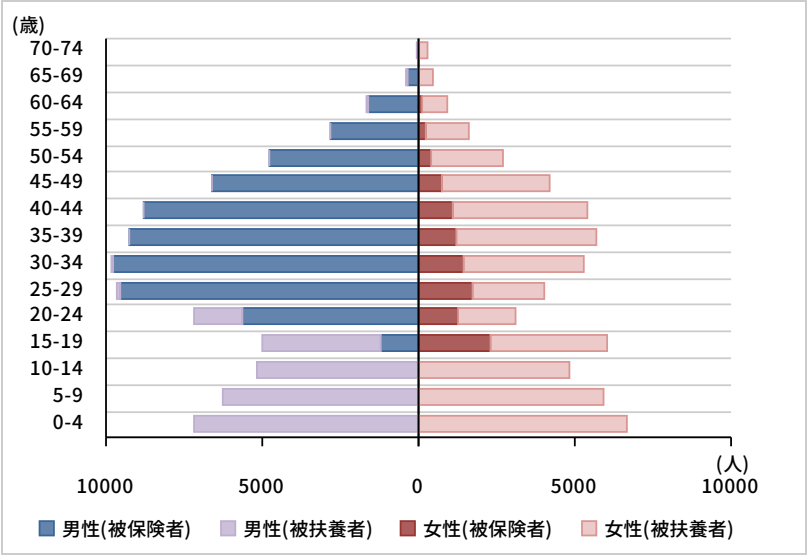
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	56821		
組合名称	アイシン健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	76,340名 男性87% (平均年齢37.6歳) * 女性13% (平均年齢34.0歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	154,210名	-名	-名
適用事業所数	76カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	76カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	86‰	-‰	-‰

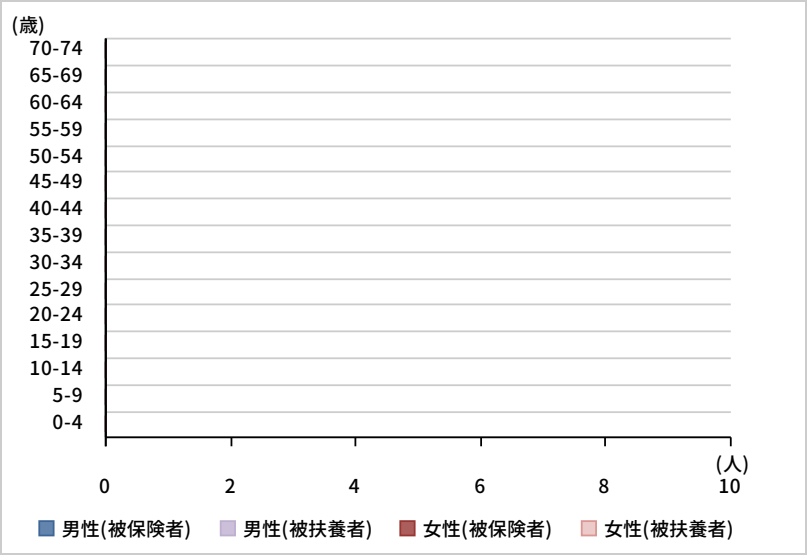
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	22	48	-	-	-	-
	保健師等	48	6	-	-	-	-
		第2期における基礎数値					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	36,000 / 40,000 = 90.0 %				
		被保険者	26,600 / 27,000 = 98.5 %				
		被扶養者	9,400 / 13,000 = 72.3 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	4,260 / 7,100 = 60.0 %				
		被保険者	3,810 / 6,350 = 60.0 %				
		被扶養者	450 / 750 = 60.0 %				

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	340,775	4,464	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	15,181	199	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	84,759	1,110	-	-	-	-
	疾病予防費	384,425	5,036	-	-	-	-
	体育奨励費	8,140	107	-	-	-	-
	直営保養所費	100,180	1,312	-	-	-	-
	その他	2,677	35	-	-	-	-
	小計 …a	936,137	12,263	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	40,675,703	532,823	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	2.30		-		-	

平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1,228人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	5,657人	25～29	9,550人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9,781人	35～39	9,275人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	8,786人	45～49	6,605人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	4,756人	55～59	2,801人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,626人	65～69	365人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	14人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2,327人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,274人	25～29	1,737人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,437人	35～39	1,182人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,102人	45～49	750人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	394人	55～59	210人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	107人	65～69	16人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	7,180人	5～9	6,278人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	5,149人	15～19	3,804人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,578人	25～29	142人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	54人	35～39	18人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	14人	45～49	8人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	10人	55～59	12人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	50人	65～69	49人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	50人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	6,672人	5～9	5,929人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	4,829人	15～19	3,711人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,862人	25～29	2,298人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3,866人	35～39	4,505人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4,320人	45～49	3,455人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,286人	55～59	1,397人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	797人	65～69	453人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	275人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ①大規模な健保組合
- ②被保険者は男性比率が非常に高い
- ③女性被保険者は20歳未満が多く、男性被保険者は30代前半が多い
- ④子供（被扶養者）が多い

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（地域巡回健診等）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	健康保険ガイド
保健指導宣伝	ホームページの運用
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進
疾病予防	胃検診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	大腸がん健診
疾病予防	歯科検診
疾病予防	健康・メンタル相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	禁煙活動
疾病予防	常備薬・健康食品の斡旋
疾病予防	医療機関受診勧奨
疾病予防	前期高齢者訪問指導
体育奨励	健康ウォーキング
体育奨励	Webウォーキング支援（あるらく）
体育奨励	プール・ジム利用料補助
直営保養所	直営保養所
その他	契約保養所
事業主の取組	
1	その他

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

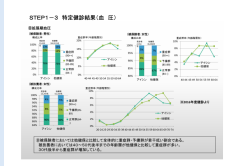
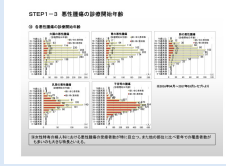
予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備														
加入者への意識づけ														
個別の事業														
特定健康診査事業 特定保健指導事業 保健指導宣伝	3	特定健康診査 (地域巡回健診等)	【目的】 受診率向上のため 【概要】 被扶養者が対象の健診	被扶養者	全て	男女	20～74	全員	299,877	被扶養者の受診率 53.5%。40歳以上の受診率は、64%。(地域巡回健診 11,172人、ネットワーク健診 316人、被扶養者の勤務先健診 459人、集合契約 798人)	被保険者宛の家族受診勧奨の実施や集合契約はの参加によって受診率7%UP	事業所と協力し健診無関心層への更なる受診促進と会場設定(地域)の拡大	4	
	4	特定保健指導	【目的】 生活習慣病予防 【概要】 生活習慣の改善を指導し、将来の医療費の伸びの抑制を図る	被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	12,300	特定保健指導実施率は 57.3% (教室保健指導：130人、家庭訪問指導：370人)	2業者を1陣(教室)、2陣(家庭訪問)に分け2段階で受診勧奨	保健指導結果を国に報告するまでに、指導が終了していないケースがある	4	
	5	機関紙	【目的】 保健事業情報、健康情報の提供 【概要】 年4回、14ページの冊子を発行	被保険者	全て	男女	18～74	全員	24,139	発行部数 68,000/回 事業所経由で被保険者に配布	自健保のデータを活用した記事や、クロスワードパズルなどの遊びを入れた魅力ある記事づくり	事業所経由での配布のため、家庭に持って帰らない被保険者がいる	4	
	-	医療費通知	【目的】 医療費の見える化による抑制への意識付け 【概要】 世帯における医療費内容を世帯主に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	2,505	医療機関を受診した組合員の全ての世帯主に通知、年に2回	特になし	通知は本人に届くが100%内容を把握しているかどうかは不明	3	
	-	健康保険ガイド	【目的】 健康保険に関する情報提供 【概要】 新入社員及び中途社員に配布	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	3,236	ガイド3,200部配布	コンパクトで見易い	被保険者数が多いため、被保険者全員に配布すると多額なコストがかかる	4	
	-	ホームページの運用	【目的】 健康保険に関する情報提供 【概要】 24時間健保に関する情報提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	411	24時間閲覧可能	特になし	事業所の中には、セキュリティーの関係で一部利用できない場合がある	4	
	-	ジェネリック医薬品促進	【目的】 薬剤費の抑制 【概要】 主に生活習慣病の慢性疾患患者に対しジェネリック薬品を紹介しコストメリットを通知する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	271	ジェネリック差額通知を発行。年1回、1月に慢性疾患で1回あたり300円以上負担軽減できる対象者871人に送付。	差額通知とともに、保険証貼付用のジェネリック促進シールを送付。	調剤薬局でのジェネリック医薬品の在庫有無。	4	
	疾病予防	-	胃検診	【目的】 胃がんの早期発見 【概要】 検診パスにて実施	被保険者	全て	男女	30～74	基準該当者	53,857	受診者 10,346人	特になし	バリウムが飲みにくい。下剤の使用が業務に支障をきたす。検査方法の見直しも課題	2
		-	婦人科健診	【目的】 乳がん、子宮がんの早期発見 【概要】 巡回健診会場に併設して実施	被保険者	全て	女性	20～74	全員	24,272	全国の健診・医療機関で実施。受診者1,570人。受診率20.4%と低調。	日程を自身の都合で選択できることや、受診勧奨の効果があり受診率が4%UP	いつでも受診できる為、かえって忘れがちになる。	2
		-	人間ドック	【目的】 がん健診を含めた多項目健診 【概要】 健保から23,100円の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	20～74	全員	142,923	受診者 6,195人	特になし	コストが高い。契約機関が少ない。	4
		-	脳ドック	【目的】 脳疾患リスクの早期発見 【概要】 40歳以上の組合員に年1回、18,000円補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	15,590	受診者 869人	健診機関の閑散期受診キャンペーン(低価格)	健診コストが高い	4
		-	大腸がん健診	【目的】 大腸がんの早期発見 【概要】 便潜血法にて実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	35～74	全員	26,549	受診者 22,800人	事業所健診に積極的に組み込むことで受診者数増加	検体を2回とるため、めんどくさがったり、忘れがちになる。	4
		-	歯科検診	【目的】 歯の健康維持 【概要】 口腔全般のチェック及び保健指導。年2回迄	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	13,598	受診者 2,754人	特になし	周知等取り組み方が不十分	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り				注2) 評価
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
	-	健康・メンタル相談	【目的】健康やメンタルに関する相談に対応 【概要】健康相談はフリーダイヤルで24時間365日対応。メンタルについては、平日9：00-21：00、土曜10：00-18：00対応	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	6,480	相談件数 642件	電話相談だけでなく、メールでも対応できる	周知徹底が不十分	1	
	-	インフルエンザ予防接種補助	【目的】罹患時の重症化予防 【概要】1歳から15歳の被扶養者を対象に2,000円を上限に補助。	被扶養者	全て	男女	1 ～ 15	全員	37,447	利用者 17,666人	愛知県内の受診券の発行により接種率向上（共同事業）	県外の償還払いの手間	3	
	-	禁煙活動	【目的】禁煙支援 【概要】①禁煙手帳を用いた支援②禁煙外来医療費補助 上限10,000円	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	基準該当者	393	禁煙達成者 41人	禁煙外来10,000円の補助	せっかく禁煙できても、再度喫煙してしまう	1	
	-	常備薬・健康食品の斡旋	【目的】家庭常備薬・健康食品を低価格で提供 【概要】年2回、家庭常備薬及び健康食品、計約100品目をあっせん	被保険者	全て	男女	18 ～ 60	全員	119	年間利用者 23,701人。年2回（春、秋）実施。	社内ネットワークの構築による、申込み、配布、天引きシステム	特になし	5	
	4	医療機関受診勧奨	健診結果で『血糖』、『血圧』が受診勧奨値であったが医療機関未受診の者へ受診勧奨案内を送り、受診報告書を返送してもらう。（重症化予防）	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ （上限なし）	基準該当者	119	被保険者：10月通知 48名（内、受療14名） 被扶養者：随時通知 98名（内、受療34名）	受診報告書の提出をさせる。 通知とあわせて電話勧奨も実施。	電話が繋がらない 通院を中断してしまう 多忙や金銭を理由に受診しない	3	
	-	前期高齢者訪問指導	【目的】前期高齢者の健康維持 【概要】保健師が対象者宅を訪問し保健指導をおこなう	被保険者 被扶養者	全て	男女	64 ～ 73	全員	10,060	訪問、電話での指導 のべ664人	家庭訪問によるきめ細かな指導	電話が繋がらない 指導拒否者が全体の2/3を占めている	2	
体育奨励	-	健康ウォーキング	【目的】健康づくり 【概要】健保連愛知主催によるイベント。年2回開催（春、秋）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1,725	年間参加者数 1,476人	巡回健診（奥様健診）の案内にチラシ同封。事業所へのPRポスター作製。魅力ある景品。	愛知県以外の組合員へ機会の提供	4	
	-	Webウォーキング支援（あるろく）	【目的】健康づくり 【概要】1日の歩数をネット経由で入力し仮想旅行ができる	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	442	利用者 189人	事業所主催のウォークイベントで活用した為、登録者数が増加。	継続利用者の増加	2	
	5	プール・ジム利用料補助	契約機関のプール・ジム利用料の補助（体育奨励）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ （上限なし）	全員	723	年間を通じて、体育施設のプール、ジム利用料を補助。プール利用者：3,779人 ジム利用者：1,996人	特になし	契約施設の増加	4	
直営保養所	-	直営保養所	【目的】組合員とその家族の保養 【概要】一般のホテルと比較して低料金で利用できる	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ （上限なし）	全員	95,662	利用者 6,449人	魅力あるイベント企画。顧客アンケートに対する迅速な対応。施設の積極的な営繕活動。	若い世代の利用者開拓	4	
その他	-	契約保養所	【目的】組合員とその家族の保養 【概要】全国ネットの契約保養所を活用し、全国の組合員が利用できる	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ （上限なし）	全員	2,159	利用者 1,661人	特になし	人気施設が偏り、利用できないケースがある。 不人気施設の利用増加	3	

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
その他	-	-	-	- ～ -	-	-	-	-

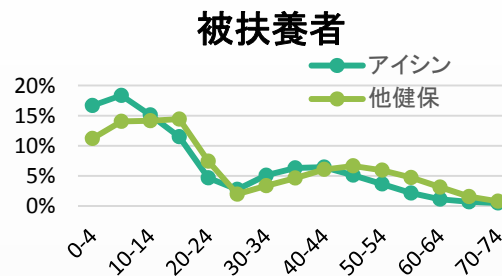
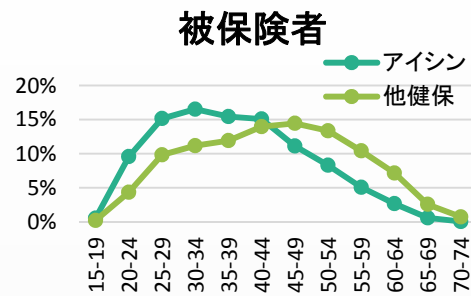
STEP1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

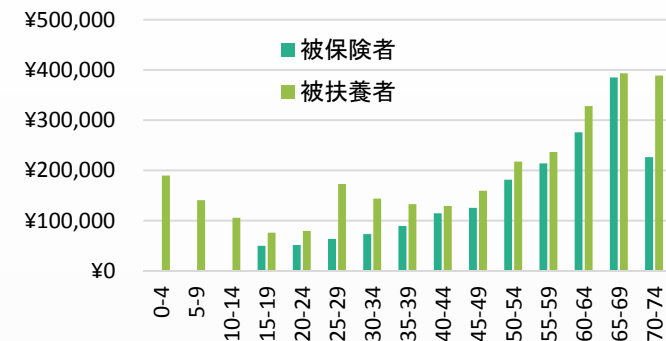
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者年齢構成、医療費、疾病状況	加入者構成の分析	-
イ		医療費の割合（消化器系、呼吸器系疾患）	医療費・患者数分析	-
ウ		医療費の割合（内分泌・代謝系、循環器系疾患）	医療費・患者数分析	-
エ		健診結果分析（血圧、HbA1c、BMI、喫煙率）	特定健診分析	-
オ		リスク者の項目別未受診率、精神疾患受療率	健康リスク分析	-
カ		悪性腫瘍診療開始年齢	健康リスク分析	-

STEP1－3 基本分析 加入者の年齢構成、医療費、疾病状況

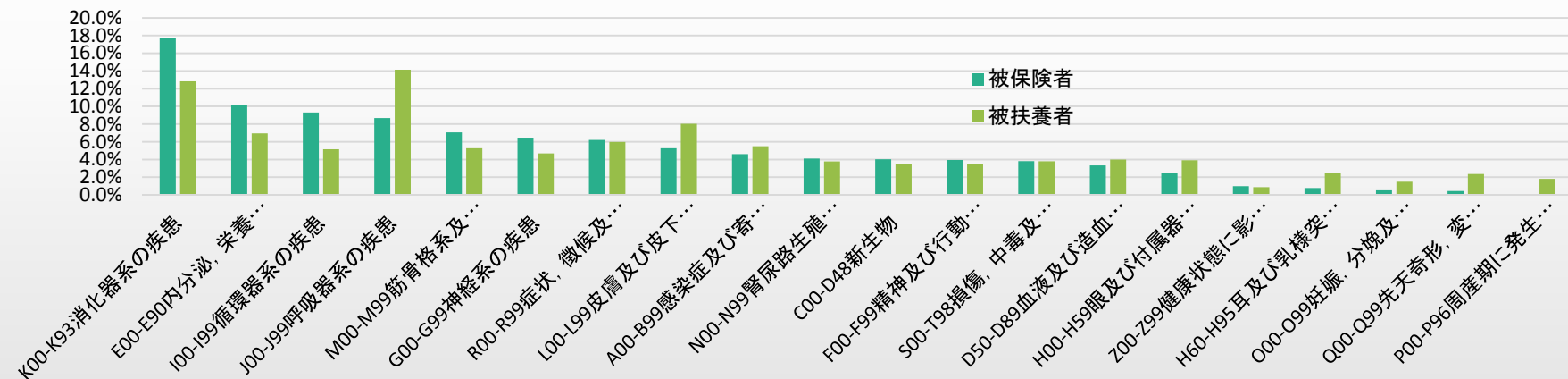
①加入者年齢構成 (2017.1～2017.12)



②加入者1人当たり医療費



③医療費 疾病別構成

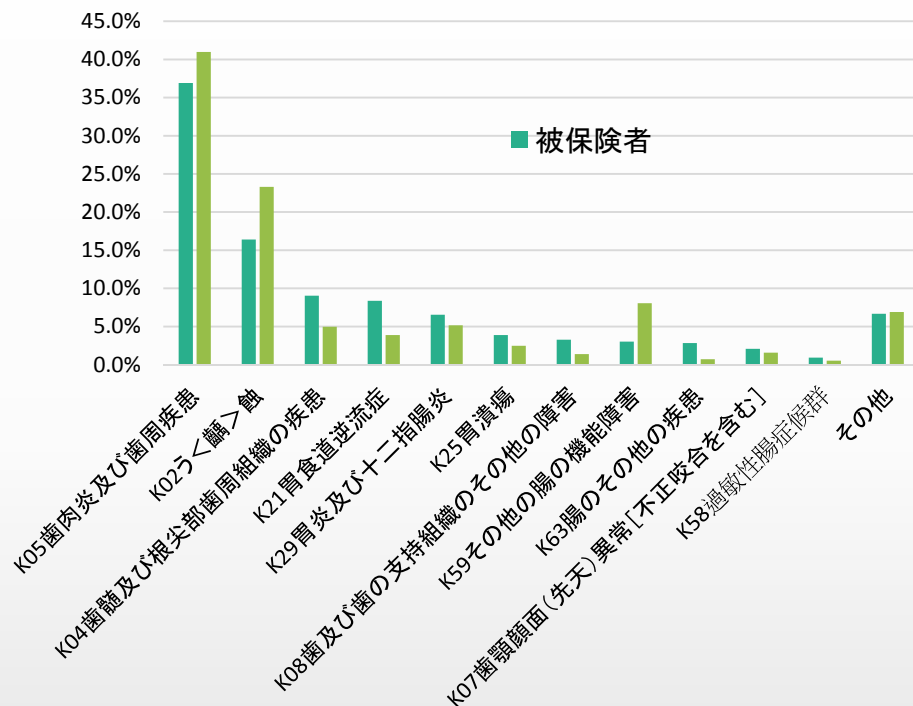


※2017.1月～2017.12月レセプトより

- ① 被保険者においては他健保と比較して20代30代の構成比が高く、40代以降は低い。被扶養者においては、10歳未満の構成比が高い。若年層では先天性疾患で高額医療となるケースもあり、医療費押し上げ要因の一つ。
- ② 1人当たり医療費は加齢とともに高くなる傾向。また、全体的に被扶養者が高く、特に25-34歳が高い。
- ③ 被保険者・被扶養者ともに消化器系、内分泌・代謝、循環器系疾患(生活習慣病)の割合が高く、被扶養者では呼吸器系疾患が突出して高い。

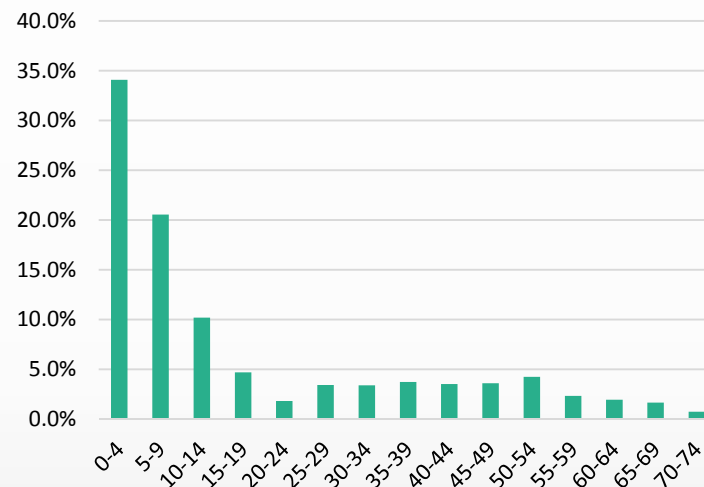
STEP1－3 消化器系、呼吸器系疾患医療費構成

④消化器系医療費 疾病別構成



⑤呼吸器系医療費 疾病別構成

(被扶養者:年齢別)

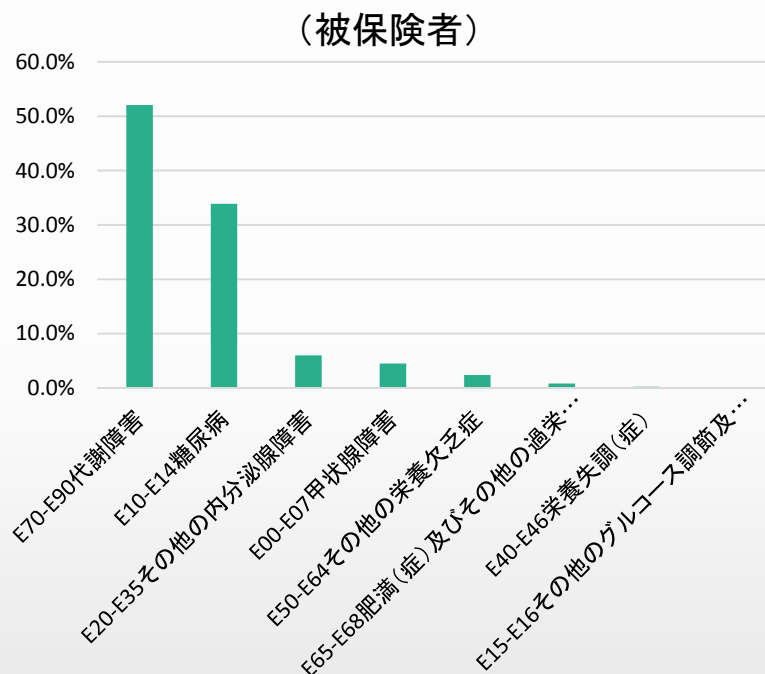


※2017.1月～2017.12月レセプトより

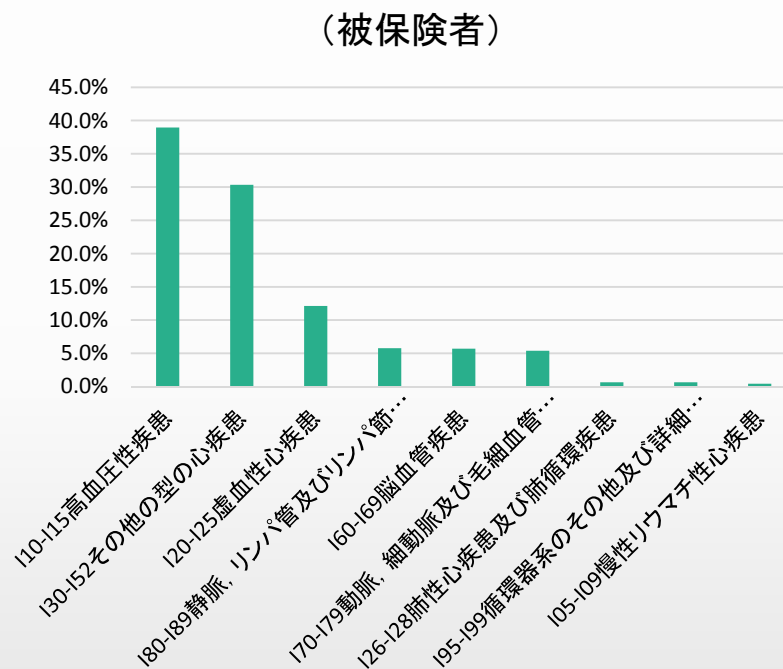
- ④被保険者・被扶養者ともに高い割合にある消化器系疾患医療費において、その中でも虫歯や歯周病関連疾患(歯科)が突出して高い割合を占めている。
- ⑤被扶養者で高い割合の呼吸器系疾患医療費においては0歳から10歳までが特に高い割合を占めている

STEP1－3 内分泌系・代謝系疾患医療費構成

⑥内分泌系疾患 疾病別医療費構成



⑦循環器系疾患 疾病別医療費構成



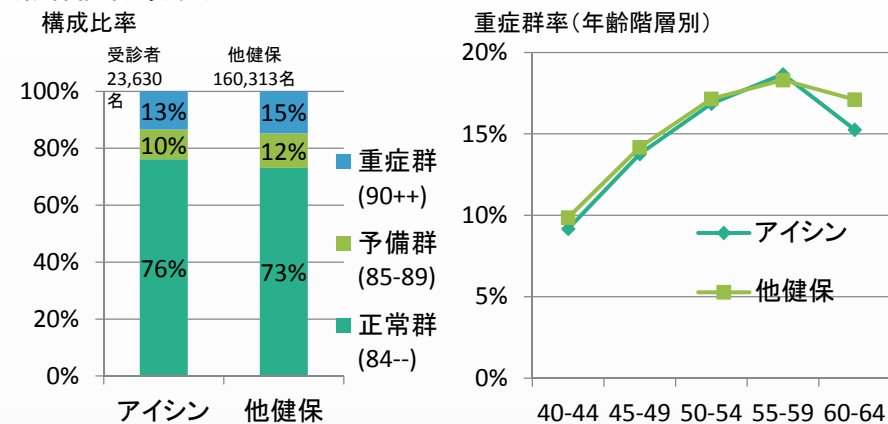
※2017.1月～2017.12月レセプトより

- ⑥被保険者の医療費構成の第2位の内分泌・代謝系疾患医療費では、脂質異常症、糖尿病(生活習慣病)がほとんどを占めている。
- ⑦被保険者の医療費構成の第3位に循環器系疾患医療費では高血圧(生活習慣病)が高い割合を占めている。

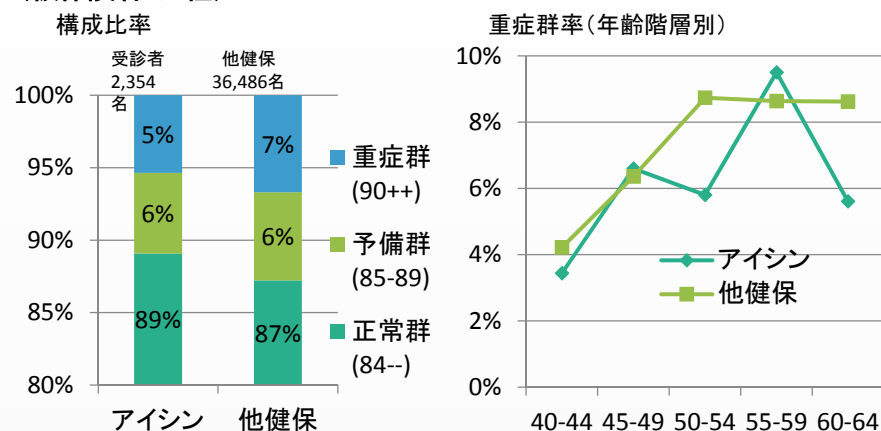
STEP1-3 特定健診結果(血 圧)

⑧拡張期血圧

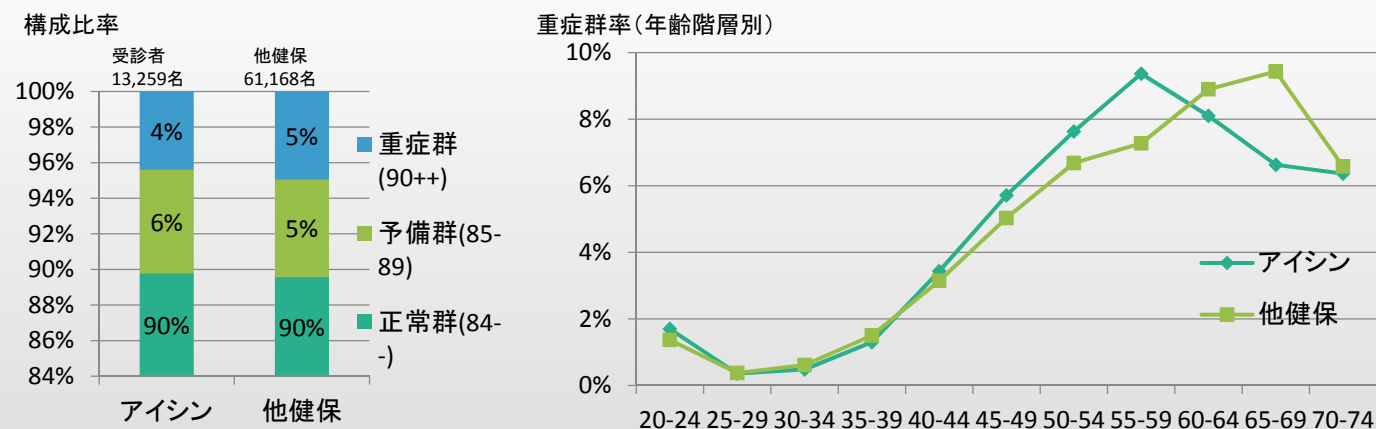
(被保険者:男性)



(被保険者:女性)



(被扶養者:女性)



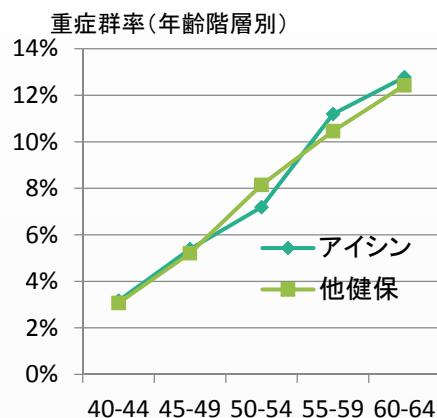
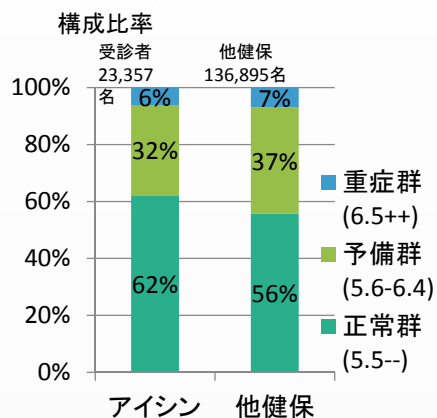
※2016年度健診より

⑧被保険者においては他健保と比較して全体的に重症群・予備群が若干低い割合である。
被扶養者においては40～50代後半までの年齢層が他健保と比較して重症群が多い。
30代後半から重症群が増加している。

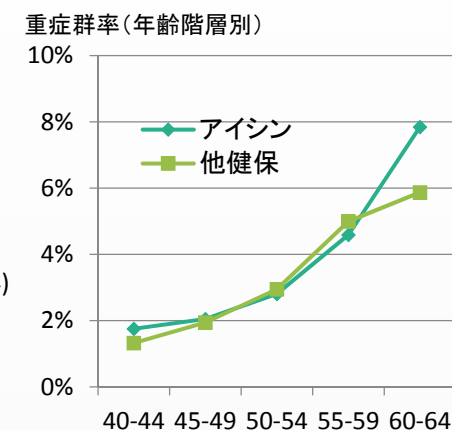
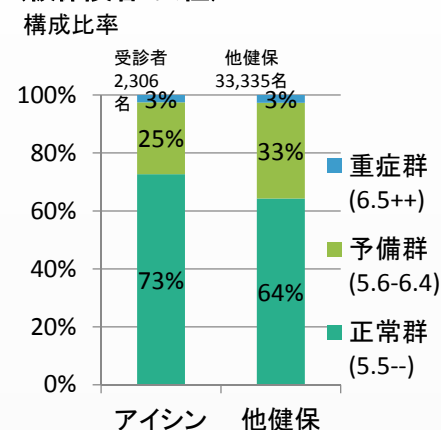
STEP1－3 特定健診結果(HbA1c)

⑨HbA1c

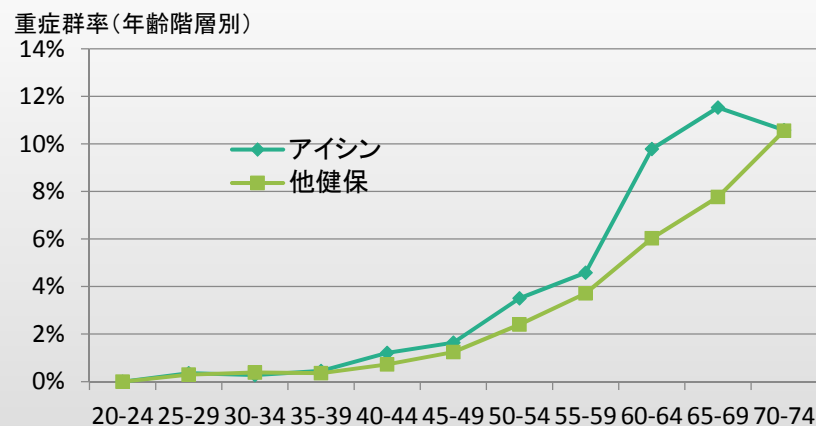
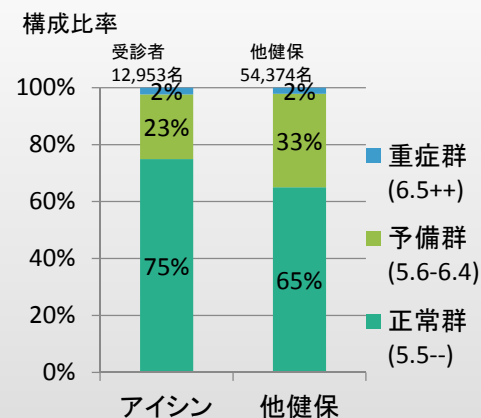
(被保険者:男性)



(被保険者:女性)



(被扶養者:女性)



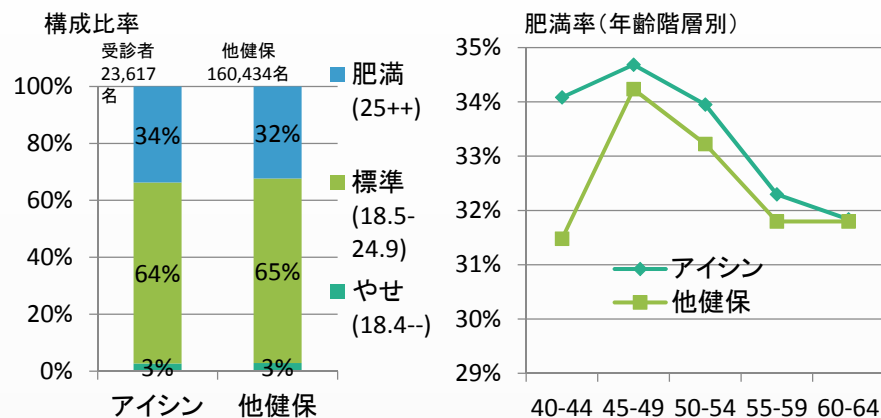
※2016年度健診より

⑨被保険者においては他健保と比較して全体的に重症群・予備群が若干低い割合である。
被扶養者においては40代以降他健保と比較して重症群が多い傾向。

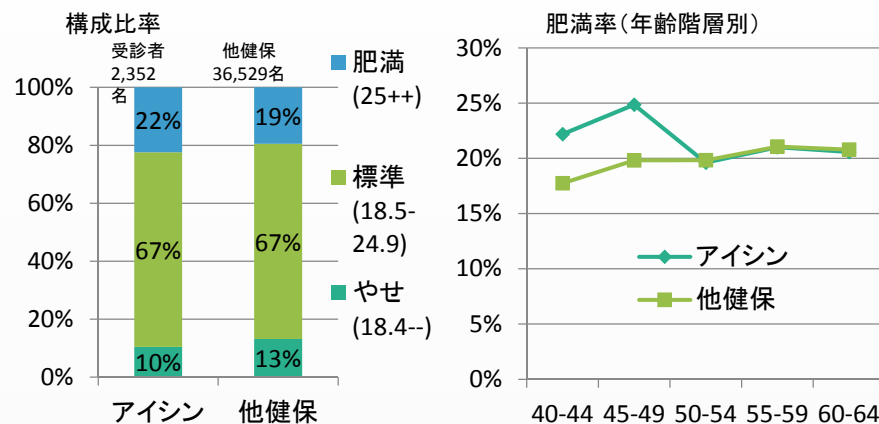
STEP1－3 特定健診結果(BMI)

⑩ BMI

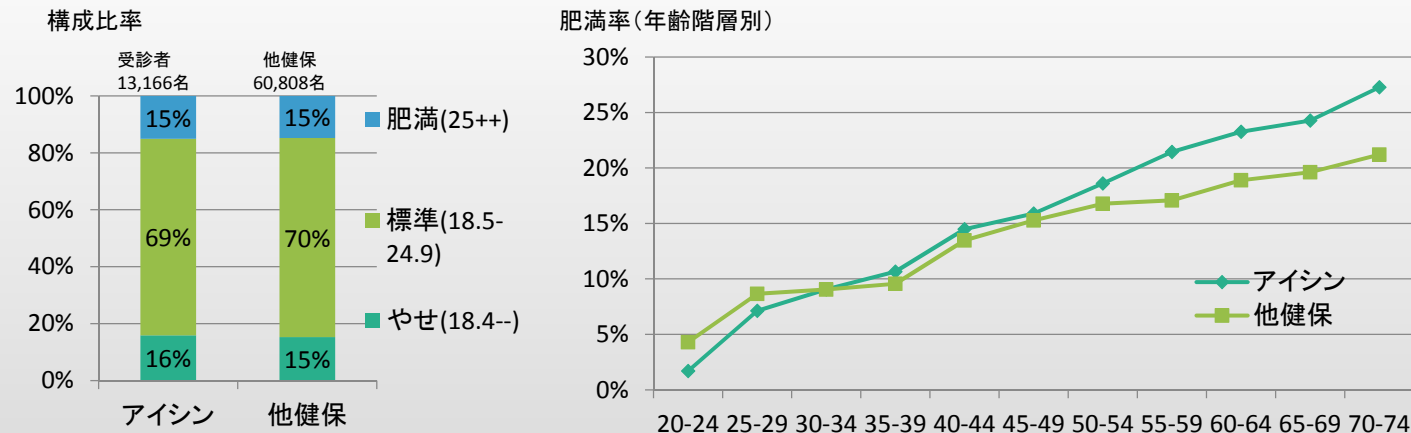
(被保険者:男性)



(被保険者:女性)



(被扶養者:女性)



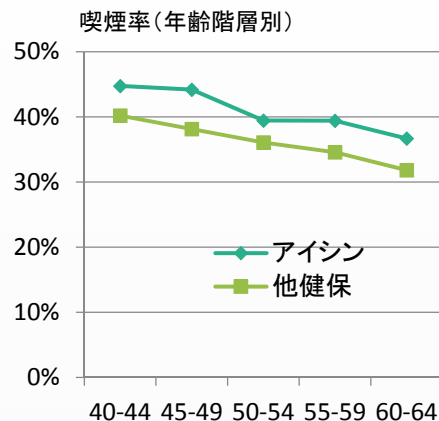
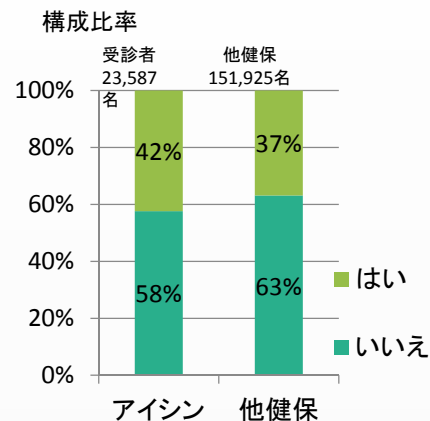
※2016年度健診より

⑩被保険者・被扶養者ともに他健保と比較して全体的に肥満率が高い。
被保険者では40代前半、被扶養者では50代以降特に多い傾向。

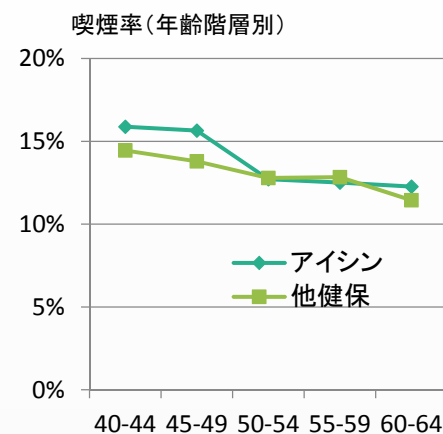
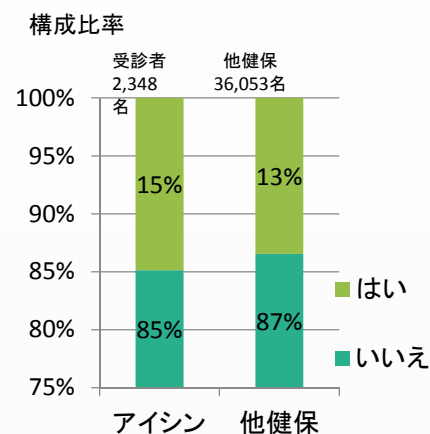
STEP1－3 特定健診結果(喫煙率)

⑪ 喫煙率

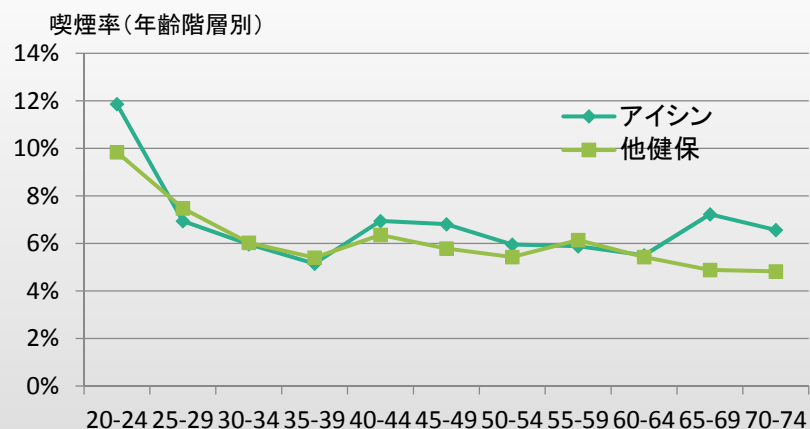
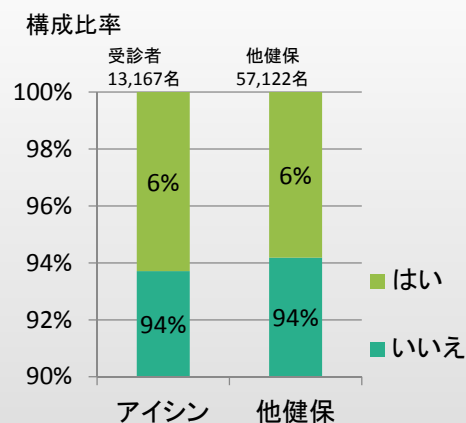
(被保険者:男性)



(被保険者:女性)



(被扶養者:女性)



※2016年度健診より

⑪被保険者・被扶養者ともに全体的に喫煙率が高い傾向にある。被保険者男性では40歳以降全年代で他健保に比べ喫煙率が約5%高い。

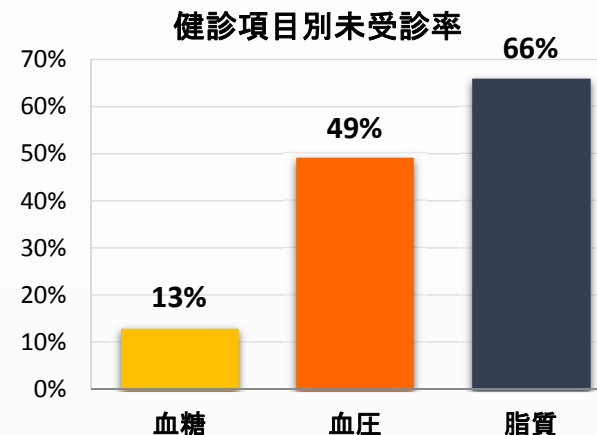
STEP1－3 血圧・血糖有所見者の受療状況、精神疾患の受療率

⑫ 有所見者の受診行動実態 ※2016年04月～2017年03月レセプトより

※複数項目該当者は重複カウント・各傷病は疑い含む

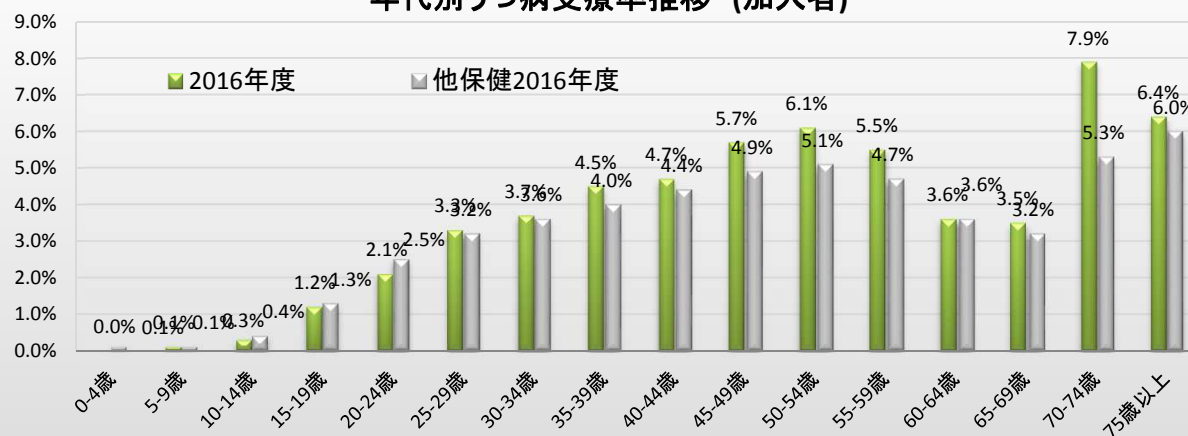
(例 高血圧症・脂質異常・糖尿病全て罹患している場合、全てにカウント)

	有所見者	受診者数	未受診者数	受診率	未受診率
血糖 (140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上) ※糖尿病を確認	1,108	959	149	87%	13%
血圧 (100又は160mmHg以上) ※高血圧症を確認	1,157	588	569	51%	49%
脂質 (中性脂肪400mg/dl以上又はLDL160以上又はHDL30未満) ※脂質異常症を確認	4,111	1,392	2,719	34%	66%



⑬ 精神疾患系の受療率

年代別うつ病受療率推移 (加入者) (2016年04月～2017年03月) ※各傷病は疑い含む



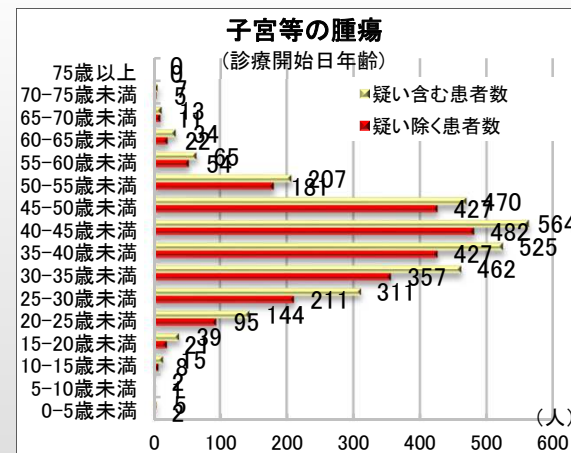
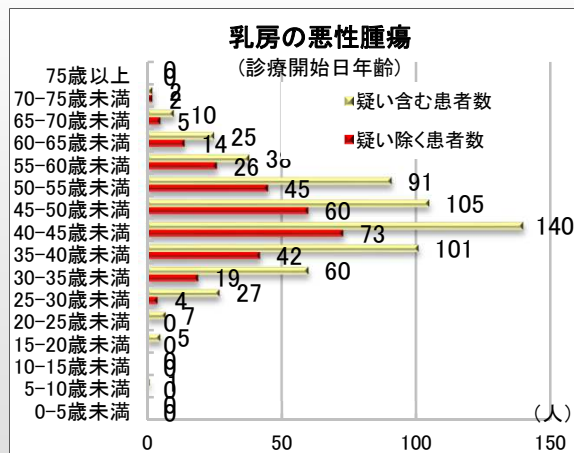
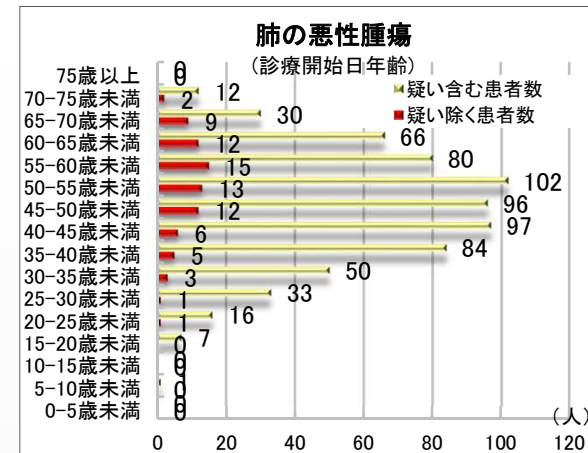
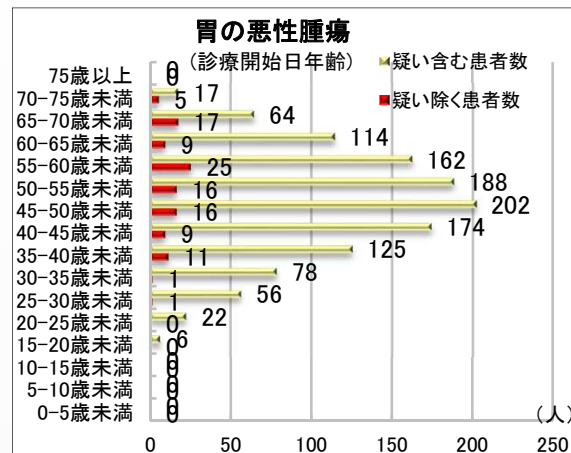
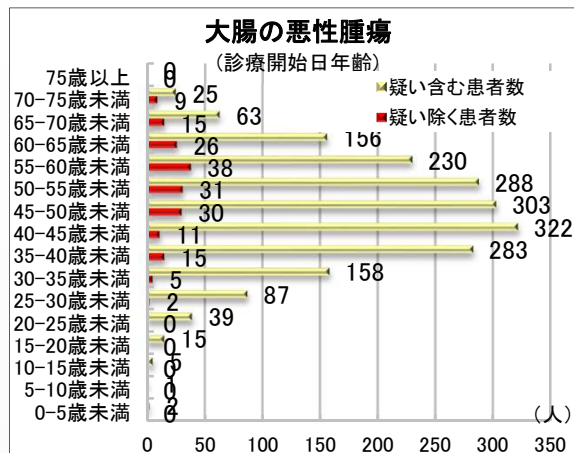
※「うつ病患者」定義
ICD10 F30-39気分障害
F30躁病エピソード
F31双極性感情障害<躁うつ病>
F32うつ病エピソード
F33反復性うつ病性障害
F34持続性気分[感情]障害
F39詳細不明の気分[感情]障害

⑫ 生活習慣病項目で受診勧奨域でありながら受療していない者が多数おり、特に糖尿病・高血圧では重症化による高額医療費が今後懸念される。

⑬ 精神疾患系の受療率では20代後半以降、他健保と比較して受療率が高く、特に40代後半から50代後半にその傾向が強くみられる。

STEP1－3 悪性腫瘍の診療開始年齢

⑭ 各悪性腫瘍の診療開始年齢



※2016年04月～2017年03月レセプトより

⑭ 女性特有の婦人科における悪性腫瘍の受療者数が特に目立つ。また他の部位に比べ若年での罹患者数が多いのも大きな特長といえる。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, ウ, エ	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い	➡	- 生活習慣改善のための食事・運動指導の実施 - 運動習慣のきっかけとなる支援（イベントなど）の実施 - 健診結果の説明（セミナー、情報提供）の実施 - 健康的な食事に関する情報提供の実施	✓
2	カ	乳がん、子宮がんは新生物のなかでも若年での発症が目立ち、罹患者も多い。治療しながら働くには早期発見により身体的な負担と医療費の負担を抑えることが必要。 また、出産を控えた若いうちからの婦人科疾病に関する情報提供が必要。	➡	- 婦人科健診の受診勧奨強化 - 受診しやすい健診環境の整備（機会の増加、職場・就業時間中健診など） - 婦人科疾病に関する情報の提供（予防など）	✓
3	オ	事業所・健保各々で健診結果で受療勧奨値があった者へ受診勧奨を実施してきたが、未だに血糖で13%、血圧で49%が未受療。受療の必要性や重症化の予防について認知を広げていく必要がある	➡	- 事業所と協力し、治療中断者も含め受療勧奨を実施 - 受診勧奨値や重症化疾病などの情報を個別又は全体へ発信	✓
4	イ	歯科医療費が高い。虫歯より、歯周に関する疾病の医療費が高い割合を占めており、今後もっと伸びていくことが予想される。	➡	- 歯科健診の充実・地域拡大 - 歯科と他の疾病に関する情報発信	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 生活習慣病とその重症化による医療費割合を低減	事業全体の目標 特定健診受診率：90%、特定保健指導率：70%
-----------------------------------	------------------------------------

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	健康診断（被保険者）
予算措置なし	特定保健指導（被保険者）
予算措置なし	健康部会
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	機関紙（医療保険制度リーフレット含む）
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	健康保険ガイド
保健指導宣伝	事務担当者会議
保健指導宣伝	レセプト・健診結果データ分析
保健指導宣伝	ホームページの運用
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進
保健指導宣伝	健康相談（セミナー）
保健指導宣伝	健康白書
保健指導宣伝	保険者間データ提供
保健指導宣伝	ICTを活用した情報提供
疾病予防	胃検診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	大腸がん健診
疾病予防	歯科検診
疾病予防	健康・メンタル相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	禁煙活動
疾病予防	常備薬・健康食品の斡旋
疾病予防	医療機関受診勧奨
疾病予防	前期高齢者訪問指導
体育奨励	健康ウォーキング
体育奨励	We bウォーキング支援（あるらく）
体育奨励	プール・ジム利用料補助
直営保養所	直営保養所
その他	契約保養所

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
職場環境の整備																							
予算措置なし	3	既存（法定）	健康診断（被保険者）	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	2	ス	事業所にて施設又は健診バスにて法定健診を実施。	ス	事業所の健康管理部門を主体に実施	法定健診、ストレスチェックの実施	継続		継続		継続		継続	健診受診率99%（40歳以上）	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い	
													特定健診受診率(【実績値】97% 【目標値】平成30年度：99% 令和元年度：99% 令和2年度：99% 令和3年度：99% 令和4年度：99% 令和5年度：99%)40歳以上の特定健診対象者の健診受診率										
4	既存（法定）	特定保健指導（被保険者）	全て	男女	40～（上限なし）	基準該当者	2	ス	事業所において自社保健師等による集団、個別にて保健指導を実施	ア,イ	事業所健康管理部門を主体に主に就業時間内にて実施	事業主主体による特定保健指導の実施	継続		継続		継続		継続	特定保健指導率70%以上	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い		
												特定保健指導率(【実績値】60% 【目標値】平成30年度：60% 令和元年度：63% 令和2年度：66% 令和3年度：68% 令和4年度：70% 令和5年度：70%)-											
1	既存	健康部会	一部の事業所	男女	18～（上限なし）	その他	2	キ,シ	グループ主要各社の健康管理部門担当者を招集し実施（年5回）共通の目標に対し、その実施状況・成果を発表	ア,イ	中央安全衛生委員会の下部組織。母体企業が招集しグループ方針を打ち出す。	・母体企業が主体となり年5回会議を実施。 ・各社にて労災ゼロ、BMI25以上者の低減、喫煙率低減、メンタル新規発症・再発者低減活動実施。	継続		継続		継続		継続	母体企業が中心となり、共通の目標に対する各社活動の事例発表などで効果的な活動を目指す。	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い 事業所・健保各々で健診結果で受療勧奨値があった者へ受診勧奨を実施してきたが、未だに血糖で13%、血圧で49%が未受療。受療の必要性や重症化の予防について認知を広げていく必要がある		
												グループ共同施策実施回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-共通の活動をグループで実施する施策を決め実施。（例：ラインケア教育など）											
加入者への意識づけ																							
個別の事業																							
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	全て	男女	20～74	被扶養者,任意継続者	1	ス	他健保との協働巡回健診（愛知県・全国）や契約健診機関、集合契約にて委託実施	エ	健保組合が業者委託により実施。	363,675		-		-		-		-	被扶養者特定健診受診率の向上	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い
													他健保との共同事業による巡回健診、集合契約、契約施設健診を実施。また、パート勤務先等での健診結果を回収。被保険者を通じての受診勧奨も実施。	前年同様		前年同様	前年同様	前年同様	前年同様				
													健診案内通知送付率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-										
健診受診勧奨の実施(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)時期や方法を改善しながら、年2回実施																							
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ス	集団セミナーや、自宅訪問にて実施（委託）	エ	健保組合が業者委託により実施	15,181		-		-		-		-	被扶養者の特定保健指導率向上	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い
													セミナー、医療機関、訪問での特定保健指導の実施	前年同様		前年同様	前年同様	前年同様	前年同様				
													案内通知送付率(【実績値】99% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-										
保健指導宣伝	2	既存	機関紙（医療保険制度リーフレット含む）	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ス	年4回発行（4・6・9・12月）4月のみ自宅送付、他は職場配布	ス	健保組合にて企画し、委託業者が原稿データ作成・印刷・送付。	28,590		-		-		-		-	機関紙を通じて、健康保険制度知識・健康情報の提供や保健事業への参加を呼びかけによるヘルスリテラシーの向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年4回機関紙発行。保健事業への参加の呼びかけや健康情報を発信する。	前年同様		前年同様	前年同様	前年同様	前年同様				

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画								
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
保険・健康情報誌の発行(【実績値】4回　【目標値】平成30年度：4回　令和元年度：4回　令和2年度：4回　令和3年度：4回　令和4年度：4回　令和5年度：4回)求められる内容や配布方法（職場・自宅・WEBなど）をアンケートを取るなどして改善していく。												- (アウトカムは設定されていません)									
2	既存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	年2回（9・12月）発行。 職場配布。	ス	健保組合が委託により実施。	2,800	-	-	-	-	-	医療費のお知らせを通じ、受療状況の確認を促す	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
医療費通知書の発行(【実績値】2回　【目標値】平成30年度：2回　令和元年度：2回　令和2年度：2回　令和3年度：2回　令和4年度：2回　令和5年度：2回)-												- (アウトカムは設定されていません)									
8	既存 （法定）	健康保険ガイド	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	-	ス	-	4,257	-	-	-	-	-	被保険者に健康保険を周知・理解を促す。 また、事業所の健保窓口担当者の健康保険に対する理解を深めていただき、被保険者と健保の橋渡しのな役割を担っていただく。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
配布回数(【実績値】1回　【目標値】平成30年度：1回　令和元年度：1回　令和2年度：1回　令和3年度：1回　令和4年度：1回　令和5年度：1回)-												- (アウトカムは設定されていません)									
1	既存	事務担当者会議	全て	男女	18 ～ （上限なし）	その他	1	ス	召集会議、TV会議にて実施	シ	健保組合が企画し実施。	88	-	-	-	-	-	健康保険への理解・周知	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
出席率(【実績値】100％　【目標値】平成30年度：100％　令和元年度：100％　令和2年度：100％　令和3年度：100％　令和4年度：100％　令和5年度：100％)-												- (アウトカムは設定されていません)									
8	既存	レセプト・健診結果データ分析	全て	男女	18 ～ （上限なし）	加入者 全員	1	ス	毎月、加入者情報・レセプト情報・健診情報をデータ化しデータベース更新	ス	健保組合がデータを渡し委託により実施	6,480	-	-	-	-	-	レセプト、健診結果のデータベースの作成	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
データ化率(【実績値】100％　【目標値】平成30年度：100％　令和元年度：100％　令和2年度：100％　令和3年度：100％　令和4年度：100％　令和5年度：100％)医科、薬剤（歯科は今後データ化予定）												- (アウトカムは設定されていません)									
8	既存	ホームページの運用	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	1	ス	毎年度4月に当該年度の変更点を更新。新着ニュースや公示など随時更新。	ス	健保組合が企画し、委託により実施	494	-	-	-	-	-	加入者へタイムリーに健康情報や保健事業情報などを提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
ホームページPR回数(【実績値】1回　【目標値】平成30年度：1回　令和元年度：1回　令和2年度：1回　令和3年度：1回　令和4年度：1回　令和5年度：1回)-												- (アウトカムは設定されていません)									
7	既存	ジェネリック医薬品促進	全て	男女	0 ～ 74	その他	1	ス	GE切替で300円以上の差額が出る対象者を抽出し、年1回GE通知を発送	ス	健保組合が企画し、委託により実施。	400	-	-	-	-	-	GE数量率の向上：80％	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
GE差額通知の発送(【実績値】1回　【目標値】平成30年度：1回　令和元年度：1回　令和2年度：1回　令和3年度：1回　令和4年度：1回　令和5年度：1回)毎年、通知対象者を検討し、対象者へGE差額通知とGEシールを発送												GE率(【実績値】68％　【目標値】平成30年度：70％　令和元年度：75％　令和2年度：80％　令和3年度：80％　令和4年度：80％　令和5年度：80％)-									
2,5,6	新規	健康相談（セミナー）	一部の事業所	女性	18 ～ 74	被扶養者	3	オ,ケ	①健診受診率または健康意識が低い地域を選定し、専門職による健康セミナーを年1回実施。 ②専門職がいない事業所を対象に、健保組合の保健師が健康相談・健診結果説明会を実施	ス	健保組合保健師が主体となり、委託業者・該当事業所と協働にて実施	2,100	-	-	-	-	-	加入員の健康意識を向上、被扶養者の健診受診率UP	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。 また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い		
参加者数(【実績値】-　【目標値】平成30年度：25人　令和元年度：30人　令和2年度：35人　令和3年度：40人　令和4年度：45人　令和5年度：50人)-												- (アウトカムは設定されていません)									
												4,000	-	-	-	-	-				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
	1	新規	健康白書	一部の事業所	男女	40～64	被保険者	1	シ	レセプト・健診データより労働生産性に着目した分析（健康スコア）をし、該当事業所に配布。	ア,イ	健保組合が主体となり、事業所から健診結果の提供をうけ実施（分析は委託）	コラボヘルス推進の覚書を締結。 過去３年のレセプト・健診結果データより主要12社の健康スコアを作成し、該当事業所と健康課題を共有し、コラボヘルス推進の項目を検討	健康スコア対象事業所の拡大 共有健康課題対策の推進	継続		継続		継続		継続	事業所と健康課題を共有し、協働事業をすすめる。	該当なし		
	発行回数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-													-(アウトカムは設定されていません)											
	8	新規	保険者間データ提供	全て	男女	40～（上限なし）	基準該当者	1	ス	特定健診結果出力機能整備・申請方法の決定と広報による周知	オ	健保組合の既存システムおよび広報媒体を利用	特定健診結果のデータ出力対応及びデータ提供に関する広報を実施	継続		継続		継続		継続	退職時に特定健診結果を提供できる旨、又は受け入れる旨の周知	該当なし			
	PR回数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-													-(アウトカムは設定されていません)											
	2	新規	ICTを活用した情報提供	全て	男女	18～（上限なし）	被扶養者	1	エ	健診受診者に結果の経年グラフ等個別情報を送付。	ス	健診の種類により健保組合か健診委託先業者にて実施	・健診受診者（被扶養者）へ健診結果をもとにした個性の高い情報の提供 ・ポータルサイトの運用リサーチ	継続		継続		・健診受診者（被扶養者）へ健診結果をもとにした個性の高い情報の提供 ・ポータルサイトの運用		継続		継続	個別情報提供率：60%	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い	
個別情報提供率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：10% 令和元年度：20% 令和2年度：30% 令和3年度：40% 令和4年度：50% 令和5年度：60%)-													-(アウトカムは設定されていません)												
疾病予防	3	既存	胃検診	全て	男女	30～74	被保険者	2	シ	事業所健診にて胃検診実施１人当たり5400円（上限）を補助。	ア	事業所が主体となり施設又はバス健診を企画して実施。	事業所にて就業時間中の健診実施を推進 直契約健診機関だけでなく、事業所健診実施機関での胃健診実施がスムーズにできるよう補助制度を見直し。	継続		継続		継続		継続	職域におけるがん検診ガイドラインに沿って事業所での胃健診実施を推進し、受診率を向上することで早期発見・早期治療に結びつける	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
	胃健診受診率(【実績値】 23% 【目標値】 平成30年度：25% 令和元年度：30% 令和2年度：35% 令和3年度：40% 令和4年度：45% 令和5年度：50%)-													-(アウトカムは設定されていません)											
	3	既存	婦人科健診	全て	女性	20～74	被保険者	1	ス	①全国の契約施設にて乳がん・子宮頸がん健診を実施。１人当たり1万円（上限）補助。 ②事業所健診として実施。１人当たり1万円（上限）補助。	ス	①健保組合が委託し実施 ②事業所が主体となり企画して実施	広報による受診勧奨の強化。また、事業所と協力し就業中の健診実施や、事業場での健診の実施を推進。	継続		継続		継続		継続	がん検診に関するガイドラインに沿った実施と婦人科健診受診率：50% 就業時間内実施：3事業所	乳がん、子宮がんは新生物のなかでも若年での発症が目立ち、罹患者も多い。治療しながら働くには早期発見により身体的な負担と医療費の負担を抑えることが必要。 また、出産を控えた若いうちからの婦人科疾病に関する情報提供が必要。			
	婦人科健診案内率(【実績値】 100% 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-													婦人科健診受診率(【実績値】 19% 【目標値】 平成30年度：25% 令和元年度：30% 令和2年度：35% 令和3年度：40% 令和4年度：45% 令和5年度：50%)-											
	3	既存	人間ドック	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	1	ス	健保と直契約施設にて人間ドックを実施。１人当たり23100円補助。 ※契約外施設での受診は補助金を償還払い	ス	健保組合が契約健診機関に委託し実施	加入者の居住地分布から契約健診機関の追加を実施。	継続	人間ドック健診機関との契約において直契約を続けるか委託業者契約にするかを再検討。 補助額の見直し。	加入者の居住地分布から契約健診機関の追加を実施。	継続		継続		継続	被保険者の受診率３％アップ	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い		
人間ドックPR回数(【実績値】 1回 【目標値】 平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-													-(アウトカムは設定されていません)												
	3	既存	脳ドック	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	ス	健保と直契約施設にて脳ドックを実施。１人当たり18000円補助。 ※契約外施設での受診は補助金を償還払い	ス	健保組合が契約健診機関に委託し実施	加入者の居住地分布から契約健診機関の追加を実施。	継続	人間ドック健診機関との契約において直契約を続けるか委託業者契約にするかを再検討。 補助額の見直し。	加入者の居住地分布から契約健診機関の追加を実施。	継続		継続		被保険者・被扶養者の受診率３％アップ	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い			
	脳ドックPR回数(【実績値】 1回 【目標値】 平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-													-(アウトカムは設定されていません)											

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連								
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画													
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度						
アウトプット指標												アウトカム指標														
	3	既存	大腸がん健診	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	2	ス	①事業所健診にて大腸健診（2回法）を実施。全額健保負担 ②個人申込みによる大腸健診（2回法・郵送法）を実施。自己負担無料	ス	①事業所が主体となり企画し委託実施 ②健保が主体となり企画し委託実施。	31,272	-	-	-	-	-	職域におけるがん検診ガイドラインに沿って事業所での大腸健診実施を推進し、受診率を向上することで早期発見・早期治療に結びつける	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
													事業所に大腸がん健診受診率UPを働きかけ。	継続		継続		継続								
													大腸健診受診率(【実績値】30% 【目標値】平成30年度：35% 令和元年度：38% 令和2年度：41% 令和3年度：44% 令和4年度：47% 令和5年度：50%)-								(アウトカムは設定されていません)					
	3	既存	歯科検診	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	ス	①診療所健診（歯科医師会との契約）、対象者：加入者 自己負担：無料 ②巡回歯科健診（他健保協働）、対象者：基準該当者、自己負担：無料	ス	①歯科医師会との契約による委託実施 ②歯科医師会等及び業者委託による実施	27,750	-	-	-	-	-	歯科健診実施地域100%と歯科健診受診率の向上	歯科医療費が高い。虫歯より、歯周に関する疾病の医療費が高い割合を占めており、今後もっと伸びていくことが予想される。						
													継続		歯科健診空白地域での歯科健診の実施	継続		継続								
													地域カバー率(【実績値】70% 【目標値】平成30年度：70% 令和元年度：73% 令和2年度：76% 令和3年度：79% 令和4年度：82% 令和5年度：85%)歯科健診会場の有る地域の加入者割合でカバー率を出す。（県単位）								(アウトカムは設定されていません)					
	6	既存	健康・メンタル相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	24時間体制の無料電話相談（WEB相談も可）対象者：加入者 ※面接費用は全額利用者負担	ス	業者委託による実施	6,480	-	-	-	-	-	相談サービスの周知	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
													必要なサービスを見直し、コスト削減。委託先の検討を実施。	相談サービスのPR	継続		継続				継続					
													PR回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-								1件当たり費用(【実績値】8,000円 【目標値】平成30年度：5,000円 令和元年度：4,700円 令和2年度：4,400円 令和3年度：4,100円 令和4年度：3,800円 令和5年度：3,500円)-					
	3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	1～15	被扶養者	1	ス	1～15歳の被扶養者へ予防接種券を配布。補助額上限2000円。（補助は1回限り） 契約機関での接種。	エ	健保連愛知連合会を通じての県医師会との団体契約により実施	47,611	-	-	-	-	-	接種率3％アップ	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
													接種券を配布し接種費用を補助。	継続		継続		対象者・補助額の見直し			継続		継続			
													接種券配布率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-								(アウトカムは設定されていません)					
	5	既存	禁煙活動	全て	男女	20～74	加入者全員	1	ス	禁煙外来を受診し卒煙できた者へ費用補助10000円（上限）	ス	希望者が各自医療機関で受診。後日健保へ費用補助請求。	818	-	-	-	-	-	喫煙率の3%ダウン	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い						
													PR回数(【実績値】3回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-								(アウトカムは設定されていません)					
														8	既存	常備薬・健康食品の斡旋	全て	男女			18～60	被保険者	1	ス	対象者：被保険者、健保補助：なし セルフケアに役立つ医薬品・衛生用品の斡旋	ス
申込方法のオンライン化及び商品を自宅配布へ変更し実施（補助はなし）	継続		継続		継続		継続																			
購入者数(【実績値】20,000人 【目標値】平成30年度：20,000人 令和元年度：20,200人 令和2年度：20,400人 令和3年度：20,600人 令和4年度：20,800人 令和5年度：21,000人)-						(アウトカムは設定されていません)																				
	4	既存	医療機関受診勧奨	全て	男女	40～（上限なし）	被保険者,被扶養者	1	ス	対象者へ医療受診勧奨通知を発送し、受診報告書を提出させる	イ,ウ	健保組合保健師が実施（対象者抽出、通知作成は一部業者委託）	24	-	-	-	-	-	フォロー実施者のうち、被保険者40%、被扶養者45%を受療行動に移す	事業所・健保各々で健診結果で受療勧奨値があった者へ受診勧奨を実施してきたが、未だに血糖で13%、血圧で49%が未受療。受療の必要性や重症化の予防について認知を広げていく必要がある						
													・血圧・血糖の値が治療域の者への医療受診勧奨とレセプト確認、フォローを実施。 ・治療中断者へのフォロー方法の検討。	・被保険者の対象を40歳未満へも拡大し、医療受診勧奨を実施。 ・治療中断者へのフォロー実施。	継続		継続				継続		継続			
													対象者への通知(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-								被保険者受療率(【実績値】20% 【目標値】平成30年度：25% 令和元年度：28% 令和2年度：31% 令和3年度：34% 令和4年度：37% 令和5年度：40%)-					
-												被扶養者受療率(【実績値】30% 【目標値】平成30年度：35% 令和元年度：37% 令和2年度：39% 令和3年度：41% 令和4年度：43% 令和5年度：45%)-														
	5,6	既存	前期高齢者訪問指導	全て	男女	64～74	被扶養者	1	シ	対象者へ案内通知を発送。その後電話でアポイントをとり専門職が自宅を訪問。	ウ	委託による実施（2社）	11,125	-	-	-	-	-	訪問受け入れ率40%、健診受診率50%	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い						
													64歳以上の前期高齢者の自宅を訪問し、健康相談や健診案内、GE案内を実施（委託）	継続		継続		継続				継続				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
対象者への通知(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												- (アウトカムは設定されていません)												
体育 奨励	5	既存	健康ウォーキング	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ケ	①健保連愛知連合会の健康ウォーク開催をPRし、参加者を募集 ②健保・事業所で企画し参加者を募集	ア,エ	①健保連愛知連合会が主体で実施。受付ブースは自健保にて運営。 ②健保が主体で実施。委託業者・事業所と役割分担して実施	5,700	-	-	-	-	-	参加者目標：愛知県内 750人/回、愛知県外 300人/回	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。 また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い				
	参加者数(【実績値】1,600人 【目標値】平成30年度：1,550人 令和元年度：1,600人 令和2年度：1,650人 令和3年度：1,700人 令和4年度：1,750人 令和5年度：1,800人)-												- (アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	Webウォーキング支援（あるらく）	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	エ,ス	対象者：加入者、利用料個人負担：無料	ス	委託による実施	580	-	-	-	-	-	目標登録者数：400人	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。 また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い				
	登録者数(【実績値】280人 【目標値】平成30年度：300人 令和元年度：320人 令和2年度：340人 令和3年度：360人 令和4年度：380人 令和5年度：400人)月平均登録数												- (アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	プール・ジム利用料補助	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ス	契約施設のプール・ジム利用料の補助施設で保険証を提示することで窓口で割引適用	ス	近隣の公共施設と契約し委託実施	1,060	-	-	-	-	-	契約施設地域カバー率：50%	被保険者・被扶養者ともに代謝障害、糖尿病、高血圧疾患にかかる医療費が高い割合を占めている。 また、健診結果より、被保険者・被扶養者ともに肥満率が高い				
地域カバー率(【実績値】16% 【目標値】平成30年度：20% 令和元年度：30% 令和2年度：40% 令和3年度：44% 令和4年度：46% 令和5年度：50%)施設の有る地域の加入者割合でカバー率を出す。（市単位）												- (アウトカムは設定されていません)												
直営 保養所	8	既存	直営保養所	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ス	加入者とその家族等を対象に3日前までに宿泊予約を受付し、現地に精算	ス	通常の受付業務、保養所運営を業者委託。イベント企画や営繕等は自健保にて計画実施。	100,180	-	-	-	-	-	目標利用者数：6000人	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
	PR回数(【実績値】5回 【目標値】平成30年度：5回 令和元年度：5回 令和2年度：5回 令和3年度：5回 令和4年度：5回 令和5年度：5回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
その他	8	既存	契約保養所	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ス	加入者とその家族等を対象に宿泊予約を受付し、現地精算	ス	宿泊予約・利用券管理等各施設にて実施※1箇所のみ健保受付	2,340	-	-	-	-	-	利用券消化率：90%（1人当たりコスト削減）	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
	利用券消化率(【実績値】80% 【目標値】平成30年度：80% 令和元年度：83% 令和2年度：85% 令和3年度：87% 令和4年度：89% 令和5年度：90%)機関紙等でのPRを通し利用率を向上させる												- (アウトカムは設定されていません)											

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他